

CardioHealth Station

浜内科クリニック様 (東京都渋谷区)

IMT※¹の自動測定で動脈硬化の早期発見・治療を図り、重篤な合併症予防に効果を発揮しています。

院長 濱 英永 先生

7年前に開業された浜内科クリニック院長の濱先生は、20年に及ぶ臨床経験をもとに、高脂血症・高血圧・糖尿病などの慢性疾患治療を中心に、地元に着したホームドクターとして、地域住民の健康維持に努めています。

2011年11月には、頸部血管検査のための超音波診断装置として「CardioHealth Station」を導入。動脈硬化によって引き起こされる脳梗塞、心筋梗塞などの合併症のリスクを判定し、投薬と食事療法を通して重症化の予防に役立てています。ただ、患者さんに、食事や喫煙など長年の生活習慣を改めてもらうのはなかなか難しいもの。そこで、「CardioHealth Station」の検査結果をプリントして渡すことで、患者さんに本気で生活習慣の改善に取り組んでもらうための説得材料としても活用しています。重篤な病気の元凶となる動脈硬化の症状を早期に発見し改善していくことがかかりつけ医としての大切な役割とおっしゃる濱先生。「CardioHealth Station」はその心強い味方となっています。



超音波診断装置
導入事例
Vol.02

動脈硬化の早期発見・治療
(多面的に動脈硬化の症状を検査)

IMT
(内中膜複合体厚)で判定

CardioHealth Station

生活習慣改善指導
(検査結果レポートを提供)

ABI
(足関節上腕血圧比)で判定

患者

心血管疾患リスク判定レポート
(CardioHealth Station)



浜内科クリニック 東京都渋谷区西原3-2-4 丸幸ビル2F



開業前、市中病院に勤務されていた当時、濱先生は半日4時間で50～60人の患者さんを診ていたため、1人当たりの診察時間は3分程しかなく、じっくり話を聞く時間がありませんでした。今は患者さんと向き合う時間を大切に、予約なしでも来られる風通しの良いクリニックを目指しています。

- 開業: 2007年
- 院長: 濱 英永先生
- 診療科目: 内科、糖尿病内科
- 職員数: 医師1名、看護師2名、事務員2名

CardioHealth Station

超音波診断装置 GM-72P00A
医療機器認証番号 223ABBZX00097000
特定保守管理医療機器

導入の決め手

頰動脈エコー検査が簡単にでき、プローブの位置や角度も記憶する点が気に入りました

浜内科クリニックでは、以前からABIによる動脈硬化検査を行っていましたが、頰動脈エコー検査も診断データとして非常に有効と考え、超音波診断装置を導入することにしました。ただし、自分自身の手で測定すると誤差が生じるおそれがあるため、操作卓による煩雑な操作を必要とせず自動測定できる装置を探していました。そんな折、医学雑誌で「CardioHealth Station」の広告を見て興味を持ち、デモンストレーションを依頼。「熟練度に頼らず自動で測定でき、しかも、測定時のプローブの位置と角度まで記憶してくれる機能がとても優れていると思いました。定期

的に同じ患者さんを検査する時に欠かせない機能です」と濱先生。頰動脈エコーの経験の少ない医師でも、スピーディーに測定できるので、動脈硬化性疾患の患者さんが多いクリニックでは大変重宝するはずとおっしゃいます。



診察室で「CardioHealth Station」を操作する濱先生。検査中の患者さんからも見やすい高さの可動式ラックは先生自ら探して見つけれられたそうです。

導入のメリット

患者さんが生活習慣病の治療を続けるモチベーションとなるよう活用しています

病院勤務時代に、動脈硬化が進行して脳梗塞や心筋梗塞を発症した患者さんをたくさん診てきた濱先生は、投薬や食事療法により合併症を未然に食い止めることが最も重要と考えています。しかし、生活習慣病は中高年の患者さんが多く、食生活などの意識改革が容易でないことも事実。そこで濱先生は「CardioHealth Station」の測定結果をプリントしてお見せすることで、動脈硬化の状態を納得してもらう材料にしています。「過去の検査結果と時系列で比較して、写真やグラフでわかりやすく見せることで説得力に大きな差が出ます。症状がどれくらい改善されたかがひと目でわかるので、『これからも頑張りましょう!』と患者さんのモチベーションを高めるのに大変役立っています」と濱先生。「CardioHealth Station」は、信頼性の高いデータが簡単に得られるので、それらを分析していくことで、何

年後に発症するかもしれない重病を未然に食い止める手が増えると考えます。こうした予防医学になくならない診断装置として、これからも活用していきたいと期待を込めて語ってくださいました。

心血管疾患リスク判定レポート

心血管疾患の各種危険因子の検査値を入力し脳卒中及び冠動脈疾患のリスク判定が可能。IMT・プラーク測定結果、心血管リスク判定と共に、前回との比較による予防指導も可能。

NIPPON DATA80とは

1980年から30歳以上の循環器疾患基礎調査対象者約1万人を死亡追跡している日本を代表する疫学追跡調査です。

NIPPON DATA80
を採用

取材日:2013年3月

※1: IMTとは、Intima Media Thicknessの略で、動脈の内中膜複合体厚を意味する。IMTの肥厚は、心筋梗塞や脳卒中の発症・再発率と相関を示すことから近年心血管イベントの予測因子として高く評価されている。

商品情報を載せたホームページです。ぜひご覧ください。

<http://panasonic.biz/healthcare/chs>

eco ideas

パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます

- 省エネを徹底的に追求した製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO₂排出量削減を目指します。
- 新しい資源の使用量を減らし、使用済みの製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

詳しくはホームページで
<http://panasonic.co.jp/eco>

お問い合わせ先

パナソニックヘルスケア株式会社
お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-878-211

365日
受付9時～20時

ご相談窓口における
個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社(以下「当社」)は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしておりますので、ご了承ください。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提示いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お問い合わせは…

パナソニックヘルスケア株式会社
マーケティング本部

〒105-8433
東京都港区西新橋2丁目38番5号西新橋MFビル

このカタログの記載内容は
2013年3月現在のものです。

GM-JJIE03GG1